



【2月17日（土）】講義 横浜へ移動

北京師範大学鄭飛虎講師による「2008年オリンピックと北京の現代化建設」、華東師範大学呉遵民教授による「飛躍上海---上海の昨日、今日と明日」の講義に続き、川崎市環境局生活環境部から職員を招き「川崎市のゴミ処事情」についての講義が行われました。



鄭講師の講義は、過去に行われたオリンピックのデータと比較しながらオリンピックと都市の現代化の関係についての考察や北京オリンピックの計画と進展、建設と北京の発展等について会場となる建物の写真も多く使用して解説してくれ、参加者の北京オリンピックへの期待が膨らみました。



呉教授の講義は、上海の歴史の変遷、近代化への歩みを貴重な写真とともに紹介し、現在の上海の町の様子、経済や産業の発展、国際交流から科学事業、そして2010年の世界博を含めたこれからの上海の都市計画等について等々、ときおり日本語も交えながら聴衆を引き込むような講義で、きっと参加した日本人の誰しもが、一度は上海を訪れてみたいと思うような内容でした。

9) どの講義も興味深く、参加者は食い入るように聞き入っていました

この日、最後の講義となった、川崎市環境局の木村浩三氏と深堀孝博氏の「川崎市のゴミ処事情」は、事前にゴミ処理場の見学等を行っていたこともあり、内容が理解しやすく、興味を持って話を聞くことが出来ました。中国にとってもゴミ処理問題は大きな課題とあって、講義終了後も質疑応答が相次ぎました。

昼食後、一行は田園都市線や東横線を乗り継ぎながら、次の宿泊先である横浜へ移動しました。



11) 中国では春節を迎えこの日は大晦日。中華街で異国の年越しを祝いました。



10) 公共交通機関を利用して次の宿泊地横浜へ移動

【2月18日（日）】自由行動日

この日は、10日間のセミナー中、唯一の自由行動日！
本学の学生の案内で、浅草を訪れ、仲見世でお土産を探したり、慣れない手つきでお好み焼き作りに挑戦したり、上野や皇居を訪れたり、日本の文化に触れる楽しい1日となりました。お土産と一緒に、心に残る思い出や、記念写真の量も一段と増えたようです。



12) 記念写真の撮影ポイントは万国共通？



13) お土産は見つかったかな？



14) 二重橋をバックに記念撮影



15) お好み焼きを焼く手つきも段々慣れて・・・